

令和 7 年度 山武市少年海外派遣支援事業実施報告

本市の少年海外派遣支援事業は、平成 18 年度から令和 2 年度に実施され、その後新型コロナウイルス感染拡大による中断を経て、令和 5 年度に再開してから 3 回目の実施となりました。本事業は外国の文化・自然及び学校生活等を見聞させ、広い視野と国際感覚豊かな人材を育成することを目的に実施しています。

今年度は、市内在住の中学生及び高校生の 16 名と引率者併せて 18 名を 8 月 16 日（土）から 8 月 23 日（土）までの 6 泊 8 日の日程で、豊かな自然に恵まれたニュージーランドに派遣しました。現地研修において、16 名の研修生は、ニュージーランドのオークランド市にあるパ克蘭ガ中学校での学校体験やホームステイを通じて多くのことを学び体験し、一回り成長して帰国しました。

◆結団式

7 月 2 日（水）、結団式が執り行われ、海外派遣団の一員となった研修生は、一人ずつ自己紹介をした後、研修に向けての抱負を述べました。なかには、英語での紹介やユニークな話に笑いが起き、研修生たちは、それまでの緊張が一気に解けたようです。結団式終了後は、第 1 回事前研修会として保護者も参加し、海外研修の内容や海外派遣における諸注意についての理解を持ちました。



派遣団のみなさん



激励の言葉



第 1 回事前研修会

◆事前研修会

7 月 23 日（水）から 8 月 6 日（水）までの間、現地での活動をより充実したものとするため、3 回の事前研修会を開催し、異文化について学ぶとともに英会話の勉強や訪問先で披露するパフォーマンス（合唱・南中ソーラン節）の練習等を行いました。



団長あいさつ



班ごとに自己紹介



研修の様子



令和6年度団長の講話



研修会最終日



スピーチの練習



合唱の練習



講師によるソーラン節の指導



ソーラン節最終仕上げ

◆出発式

8月16日（土）、いよいよ出発の日を迎え、派遣団一行は、お揃いのユニフォームを身にまとい、市役所大会議室で行われた出発式に臨みました。式では、松下市長をはじめ、ご列席いただいた来賓の皆様より激励のお言葉をいただき、団を代表して藤田団長、研修生代表の池田久珠奈さん並びに各班の班長が現地研修に向けて抱負を述べました。



研修生代表あいさつ



派遣団のみなさん



バスで成田空港へ出発

＝成田国際空港からオークランド国際空港へ＝



長時間のフライトでしたが、疲れを見せることなく元気にオークランド国際空港へ到着しました。日本の暑い季節とは変わり、ニュージーランドは冬です。

◆現地研修

派遣1日目、ワイトモ鍾乳洞を見学し、世界的にもとても珍しい土ボタルを鑑賞しました。ニュージーランドの豊かな自然と触れ合う中で生態系を学び、自然環境の重要性などを考えるきっかけとなりました。夜には、これからお世話になるホストファミリーの方々との対面式が行われ、研修生を温かく出迎えてくださいました。

ホストファミリーの方々との対面



PAKURANGA INTERMEDIATE SCHOOL

← (写真右) ジョンストン校長



＝学校体験＝

研修生たちは、パ克蘭ガ中学校で学校生活を体験するため、各ホームステイ先から登校しました。登校初日は、歓迎式典が開かれ、研修生たちは事前研修会で何度も練習した英語での自己紹介と合唱曲「君をのせて」を全校生徒の前で披露しました。また、式典では「ホンギ」というマオリの伝統的な格式のある挨拶を交わし、マオリ文化に触れることができました。学校体験では、バディ（ペアの現地生徒）と共に授業や校内行事に参加しました。優しい先生やバディのおかげで楽しみながら英語を学べ、日を追うごとに英語力が向上していくのを実感できました。

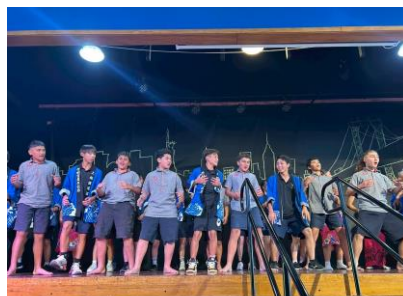




＝学校行事に参加＝

パ克蘭ガ中学校の一大イベントであるマルチカルチュラルコンサートに参加しました。コンサートでは、歌や踊りなど色々なパフォーマンスが披露され、ニュージーランドのハカという戦いの踊りの発表では、研修生の男子も一緒に参加をして、更に一体感が生まれました。

山武市チームは、事前研修会で一生懸命に練習した合唱曲「ふるさと」・「君をのせて」と「南中ソーラン節」を披露しました。踊り終えたあとの拍手と歓声は驚くほど大きく、達成感と喜びが一段と増しました。



＝学校体験を終えて＝

ホストファミリーやスクールバディとの別れ

短い間のホームステイでしたが、どの家庭も研修生を家族の一員として温かく迎えてくれました。研修生は、家族との触れ合いやライフスタイルを実体験して、ホームステイの目的である「国境を越えた相互理解」を深めることができました。

また、パクランガ中学校の生徒やバディは、不安な気持ちでいる研修生に優しく接し、どんな形でもコミュニケーションを取ろうとしてくれる姿勢に温かい気持ちになりました。

最終日の別れは、本当にさみしく悲しい気持ちでいっぱいでしたが、またいつか再会することを約束しました。



◆研修最終日

＝バイカウント小学校訪問＝

バイカウント小学校の校長先生のご厚意により、ご招待を受け訪問させていただきました。訪問時はちょうどトンガウィークにあたり、トンガの民族衣装を身にまとったかわいらしい小学生から熱烈な歓迎がありました。今回の訪問で異国文化に触れることができたことは、とても素晴らしい機会です。貴重な時間を過ごすことができました。



※研修生が首に掛けている色とりどりの飾りは、チョコレートなどのお菓子をつなげて作られており、「ロリーレイ」と呼ばれています。

＝オークランド大学視察＝

ニュージーランド最大の総合大学であるオークランド大学を見学しました。大学は、近代的な校舎や歴史的な建物があり、どちらも大きくきれいな校舎で圧倒されました。将来、この大学に通いたいと憧れる研修生もいました。



◆終わりに

8月23日（土）、派遣団一行はニュージーランドでの6泊8日の研修を終え、早朝のフライトで帰国の途に就きました。

ニュージーランドは、豊かな自然に恵まれ、治安もよく、ネイティブな英語環境でもあり、英語に触れるには理想的なところでした。

また、今回参加した16名の研修生は、海外に行くという大きな挑戦に向かって団結力が高まり、更に絆を深めることができました。この研修で過ごした時間は、生涯忘れ得ぬ思い出となったことと思います。帰国後に研修生に実施したアンケートでは、現地研修から帰ってきて自分の考え方や周囲へのものの見方が変わったと全員が回答しました。この経験をしたことでこれからの学校生活やその先の人生にも活かしてくれることを願います。

◆令和7年度山武市少年海外派遣団研修日程◆

7月 2日（水）	結団式 第1回事前研修会	海外研修の内容について、渡航手続き・諸注意について
7月23日（水）	第2回事前研修会	訪問先について学ぶ、英語での自己紹介・スピーチ練習、日常英会話、HS先への手紙作成、パフォーマンスの練習
7月30日（水）	第3回事前研修会	前年度団長の講話、英語での自己紹介・スピーチ練習、日常英会話、パフォーマンスの練習
8月 6日（水）	第4回事前研修会	渡航手続き最終確認、英語での自己紹介・スピーチ練習、パフォーマンスの仕上げ
8月16日（土） ～23日（土）	ニュージーランド現地研修 パ克蘭ガ中学校他	ホームステイ5泊、学校体験4日間 ワイトモ体験学習(土ボタル)、バイカント小学校訪問、オークランド大学視察 など

8月28日（木）	事後研修会	研修の反省、HS先へのお礼文作成
令和7年度山武市少年海外派遣団 団長：藤田 幸之介 随員：小山 優子 研修生代表：池田 久珠奈 1班 池田 久珠奈, 畑 結真, 齋藤 詩織, 町田 晶菜, 奈良 美莉, 椎名 健 2班 梨本 優月, 米代 健成, 久保田 美海, 内山 花梨, 小川 幸生 3班 山崎 惟翔, 齋藤 優奈, 片岡 莉桜, 齋藤 恵玲菜, 野中 葵生		